

都市再生整備計画

かすやちゆうしん としさいせいせいびけいかく だい へんこう
粕屋中心地区都市再生整備計画(第3変更)

ふくおか かすやまち
福岡県 粕屋町

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	粕屋町	地区名	粕屋中心地区	面積	135	ha
計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	交付期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度					

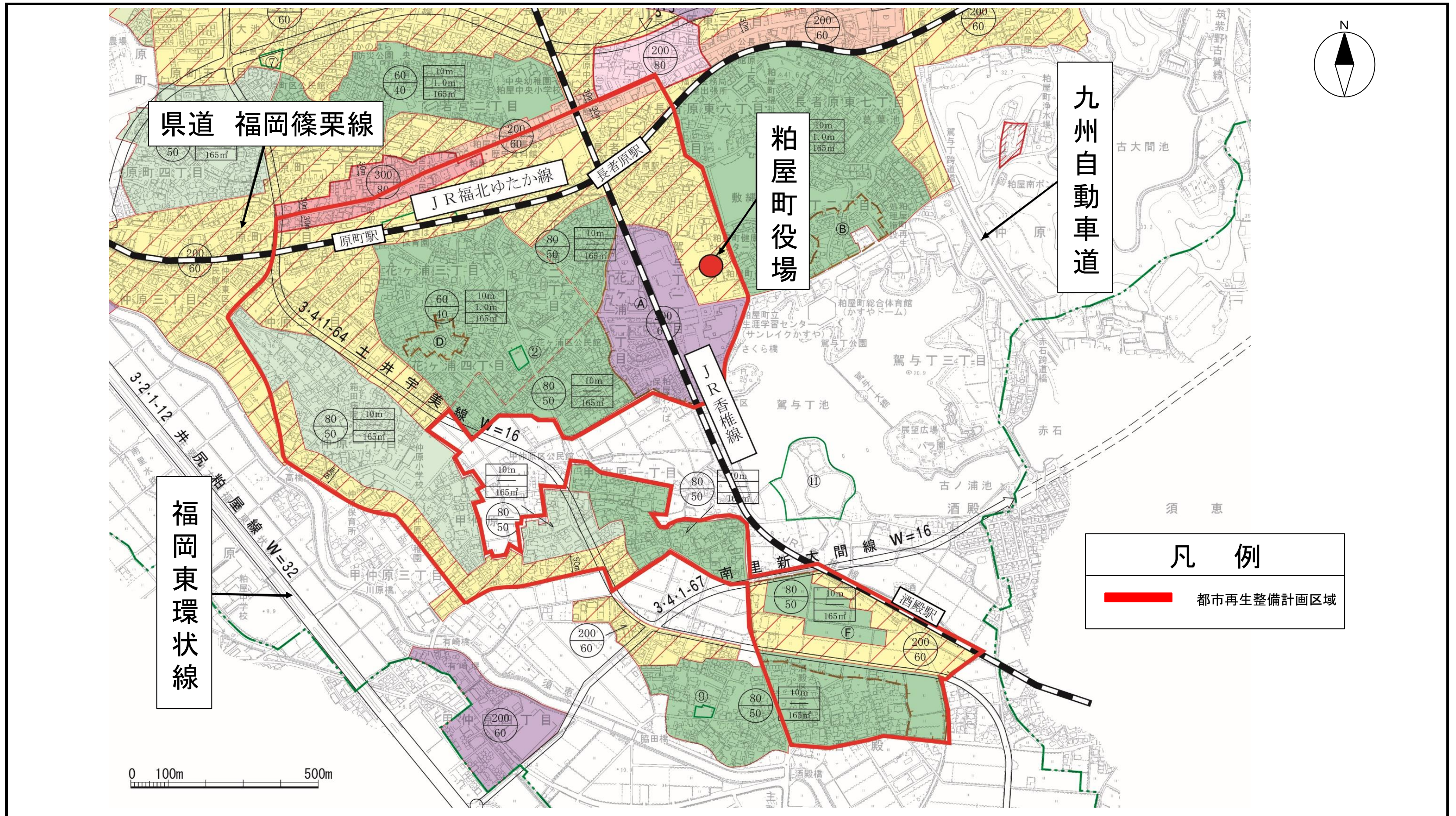
目標	
大目標	拠点となる各駅を中心に誰もが利用しやすく、誰もが住み続けたいまちづくり
目標1	交通結節点となる駅の利便性を向上させ、誰もが安心して利用できる交通拠点の形成を目指す
目標2	町内の公共施設や地域資源等の情報発信をおこない、粕屋町の魅力やイメージ、地域活力の向上を目指す

目標設定の根拠	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 粕屋町は九州最大の都市である福岡市のベッドタウンとして発展し、現在も人口増加(特に子育て世代)が著しい町であり、粕屋町長の公約の一つに「ふれあいバスをはじめとした地域公共交通は、子どもや高齢者の方にとって生活に必要な移動手段であり、公共交通も道路や上下水道と同じ社会基盤施設の一つとして再構築を行います」とし、現在はふれあいバスのバス停にベンチを設置するなど、高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児づれの方々にも快適で住みやすいまちづくりを行っている。 長者原駅周辺では、新たな拠点として『粕屋町福祉のまちづくり整備基本計画(H12)』に基づき、自由通路やエレベーター、点字ブロック設置などのバリアフリー化の整備に取り組んできた。 酒殿駅周辺では、平成30年より駅の南側において「歩いて暮らせるまちづくり」をコンセプトに、住宅地とスーパーなどの小規模商業施設を中心とした土地区画整理事業が開始され、今後この地区の更なる人口増加が見込まれる。 	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 粕屋町の人口は、国立社会保障人口問題研究所の推計によると、2045年まで増え続けるとされており、このままでは人口密度の増加や更なる交通渋滞が懸念されるため、将来を見据え誰もが歩いて暮らせる集約型の都市形成を目指し、拠点となる駅周辺の充実やより利便性の高い交通ネットワークの形成に取り組まなければならない。 町が運行しているふれあいバスは、平成29年度に行った「町内巡回バスアンケート」での結果を受け長者原駅前ロータリーへの乗り入れを行うこととしたが、ロータリー内に停車中の車があると、ふれあいバスは通ることができなくなってしまうため、ロータリーの改良整備が必要である。 酒殿駅周辺については、農地であったため、拠点としての機能や歩行者ネットワーク機能が全くない状態であるため、現在施工中の土地区画整理事業に合わせ、駅を中心とした拠点となれる整備が必要である。 今後も人口増加が見込まれているが、転入・転出の移動率が高い状況となっている。今後は町への愛着や誇りを高め、定住人口の確保につなげていくためのシティプロモーションの視野を取り入れ、町の魅力を町内外に発信し町の認知度を向上させ「選ばれる自治体」になる必要がある。 	
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【第5次粕屋町総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい者、子育て家庭等が公共交通を利用しやすいよう、JR駅、バス停の環境改善を図ります。(P57) 公共交通機関を利用する人を増やし、環境負荷の低減や交通渋滞の緩和、駅周辺のにぎわいづくりを進めます。(P57) 公共交通機関の利用促進に向けた環境改善を行います。(P57) 町の魅力を町内外に広く分かりやすく発信し、町のイメージや地域活力の向上につなげます。(P87) <p>【粕屋町都市計画マスタープラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通結節点としての機能を高めるための駅周辺の基盤づくりとして、バス・自動車・自転車・歩行者が使いやすく、相互乗り換えやキースタンドライドも利用しやすい駅前広場・駐車場・駐輪場・一時駐車スペースの整備・再整備を図ります。(P38) <長者原駅> ・主要道らから駅へのアクセス向上 ・駅前広場などの整備、再整備 ・休憩サービス機能の充実、バリアフリーなど(P78) <p>【粕屋町障がい者計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人にとって安全で利用しやすいものとなるよう、障がいのある人の声を反映させ関係機関との連携や協力を求めながら、公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、道路交通環境などの整備、改善に努めます。(P70) 	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
ふれあいバス乗車人員	人/年	ふれあいバスの年間乗車人員	交通結節点である駅への乗り入れ、バス停環境の向上でふれあいバス利用者の増加を目指す	32,576	H26~H30の平均	38,000	R6
JR駅の乗車人員	人/日	酒殿駅の1日の乗車人員	駅周辺の整備とともに駐輪場を設置することにより、酒殿駅利用者の増加を目指す	653	H30	1,060	R6
粕屋町に対する愛着度	%	粕屋町に対してどのくらいの愛着を感じているか	地域資源などの魅力を発信することで、町に対する愛着や誇りを高め、定住化を目指す	62.7	H30	65.0	R6

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【交通結節点となる駅周辺の利便性を向上させ、誰もが安心して利用できる交通拠点を形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長者原駅はふれあいバスが乗り入れを行えるようバスカットの整備と、シェルターやベンチを設置することでふれあいバスの待合環境を快適にし、点字ブロックとシェルターを自由通路のエレベーターまでつなぐことで、誰もが安全で使いやすい交通結節点となる整備を行う。 ・酒殿駅では、酒殿駅南土地区画整理事業による駅前広場整備に合わせ、ふれあいバスのバス停の整備と、土地区画整理事業による人口増加・駅利用者の増加となるため、駐輪場の拡充と多目的トイレの設置により、交通結節点となる駅周辺の利便性や拠点機能の向上を図る。 	<p>道路 : 駅前広場整備 地域生活基盤施設 : 駐輪場整備 高質空間形成施設 : 公衆トイレ(バリアフリー対応)、シェルター、点字ブロック、ベンチ整備</p> <p>酒殿駅南土地区画整理事業(関連事業/酒殿駅南土地区画整理組合)</p>
<p>【町内の公共施設を含む地域資源等の情報発信をおこない、粕屋町の魅力やイメージ、地域活力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粕屋町の中心である長者原駅の自由通路や周辺に、粕屋町の公共施設や駕与丁公園、イベントなどを案内する情報板を設置することで、町内外の方に町の施設や魅力を発信し、町の認知度を向上させ「選ばれるまち」「住み続けたいまちづくり」を目指す。 また、情報板とともに地域資源でもある駕与丁公園への案内板や案内表示の設置、案内に合わせ舗装をペイントすることで、利便性向上による魅力向上を図る。 	<p>地域生活基盤施設 : 情報板、ルートサイン整備、舗装ペイント</p>
<p>その他</p>	

<p>粕屋中心地区(福岡県粕屋町)</p>	<p>面積 135 ha</p>	<p>区域 長者原東一丁目、若宮一丁目、仲原二丁目、花ヶ浦一丁目～四丁目の全部と、 駕与丁一丁目、原町一丁目、仲原一丁目、甲仲原一丁目と二丁目、 酒殿一丁目、三丁目～五丁目の一部</p>
-----------------------	------------------	---



<p>粕屋中心地区(福岡県粕屋町)</p>	<p>面積 135 ha</p>	<p>区域 長者原東一丁目、若宮一丁目、仲原二丁目、花ヶ浦一丁目～四丁目の全部と、 駕与丁一丁目、原町一丁目、仲原一丁目、甲仲原一丁目と二丁目、 酒殿一丁目、三丁目～五丁目の一部</p>
-----------------------	------------------	---

